



## 2023年12月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2023年8月10日

上場会社名 株式会社小田原エンジニアリング 上場取引所 東  
 コード番号 6149 URL <https://odawara-eng.co.jp>  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 保科 雅彦  
 問合せ先責任者 (役職名) 管理部次長 (氏名) 小泉 紳一 (TEL) 0465-83-1122  
 四半期報告書提出予定日 2023年8月10日 配当支払開始予定日 —  
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有  
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

## 1. 2023年12月期第2四半期の連結業績(2023年1月1日~2023年6月30日)

## (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2023年12月期第2四半期	7,927	54.7	1,313	305.6	1,385	217.7	993	203.6
2022年12月期第2四半期	5,123	△16.2	323	△2.5	436	5.3	327	14.8

(注) 包括利益 2023年12月期第2四半期 1,104百万円(155.7%) 2022年12月期第2四半期 432百万円(30.5%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2023年12月期第2四半期	174.79	—
2022年12月期第2四半期	57.68	—

## (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2023年12月期第2四半期	23,133	15,153	65.5
2022年12月期	24,015	14,169	59.0

(参考) 自己資本 2023年12月期第2四半期 15,153百万円 2022年12月期 14,169百万円

## 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2022年12月期	—	0.00	—	25.00	25.00
2023年12月期	—	0.00			
2023年12月期(予想)			—	40.00	40.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 有

2022年12月期期末配当金の内訳 普通配当 15円00銭 特別配当 10円00銭

2023年12月期(予想)期末配当金の内訳 普通配当 15円00銭 特別配当 25円00銭

## 3. 2023年12月期の連結業績予想(2023年1月1日~2023年12月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	15,000	6.5	1,600	65.4	1,670	49.4	1,170	46.0	205.73

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無  
(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)  
新規 一社(社名) 、除外 一社(社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

- ① 期末発行済株式数(自己株式を含む)
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数(四半期累計)

2023年12月期2Q	6,392,736株	2022年12月期	6,392,736株
2023年12月期2Q	701,372株	2022年12月期	713,956株
2023年12月期2Q	5,682,434株	2022年12月期2Q	5,672,392株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

- ・本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、四半期決算短信(添付資料)3ページ「1.(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(セグメント情報等)	9

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間における我が国経済は、雇用情勢や所得環境の改善が進み、消費者物価の上昇の影響を受けながらも景気は緩やかに回復しました。

一方世界経済は、欧州では景気に足踏み状態が見られるものの、米国では緩やかな景気の回復が続き、中国では持ち直しの動きが続くなど、全体として緩やかな持ち直しが続きました。

当社グループを取り巻く環境は、巻線機事業の主要顧客である自動車産業において、脱炭素化に向けた世界的な流れは持続しているものの、ウクライナ情勢の影響等によりエネルギー価格の高止まり、半導体をはじめとする制御機器・電気部品等の供給逼迫、原材料価格の高騰など、依然として先行き不透明な状況が続いております。

このような状況下、当社グループは事業競争力の強化と重点地域でのアプローチ強化を進めるとともに、制御機器・電気部品等の供給逼迫の影響を最小限に抑えるべく対応を続けた結果、売上高は7,927百万円(前年同四半期比54.7%増)、利益面につきましては、営業利益は1,313百万円(前年同四半期比305.6%増)、経常利益は1,385百万円(前年同四半期比217.7%増)、親会社株主に帰属する四半期純利益は993百万円(前年同四半期比203.6%増)となりました。

当第2四半期連結累計期間のセグメントの業績を示すと、次のとおりであります。

#### ① 巻線機事業

巻線機事業に関しては、いくつかのxEV用を含めた車載用全自動モーター巻線システムを売り上げたことなどにより、売上高は5,452百万円(前年同四半期比122.3%増)、原材料価格の高騰前に製作した従来製品の売上や、利益率の高い消耗品、予備品等が好調に推移し、一部の海外顧客向けを円建てからドル建て取引に変更したことで、原材料価格高騰分を吸収してさらに円安による利益押し上げ効果が得られたことに加え、上期に売上予定だった利益率の低い開発案件及び一部の販管費が下期にずれ込んだこと等により、セグメント利益は1,377百万円(前年同四半期比287.3%増)となり、第2四半期では過去最高の売上高及びセグメント利益となりました。

また、受注高は、海外向けのxEV用全自動モーター巻線システムが好調に推移したこと等により11,054百万円、受注残高は過去最高の18,418百万円と大きく増加しました。

なお、当社グループの巻線機事業は、完全受注生産で、案件ごとに仕様やボリューム、納期、検収条件等が大きく異なるため、受注時期や売上時期が四半期並びに通期単位で大きく変動することがあります。

#### ② 送風機・住設関連事業

送風機・住設関連事業に関しては、送風機事業において主要顧客である工作機械・産業機械向け軸流ファンの需要が減少したことや、住設関連事業の浴室照明器具や全館空調システムについても伸び悩み、原材料価格の上昇を踏まえ主力の軸流ファンを中心に販売価格の値上げを実施したものの、売上高は2,474百万円(前年同四半期比7.3%減)、セグメント利益は75百万円(前年同四半期比35.3%減)となりました。

### (2) 財政状態に関する説明

#### 1. 資産、負債及び純資産の状況

##### (資産)

流動資産は、前連結会計年度末に比べて4.9%減少し、17,322百万円となりました。これは主に、受取手形及び売掛金が1,441百万円、仕掛金が607百万円それぞれ増加し、現金及び預金が1,529百万円、商品及び製品が677百万円それぞれ減少したこと等によるものであります。

この結果、総資産は、前連結会計年度末に比べて3.7%減少し、23,133百万円となりました。

##### (負債)

流動負債は、前連結会計年度末に比べて19.6%減少し、7,720百万円となりました。これは主に、未払法人税等が374百万円増加し、支払手形及び買掛金が803百万円、短期借入金が500百万円、契約負債が1,246百万円それぞれ減少したこと等によるものであります。

固定負債は、前連結会計年度末に比べて4.0%増加し、259百万円となりました。

この結果、負債合計は、前連結会計年度末に比べて19.0%減少し、7,979百万円となりました。

##### (純資産)

純資産合計は、前連結会計年度末に比べて6.9%増加し、15,153百万円となりました。これは主に、利益剰余金が851百万円増加したこと等によるものであります。

## 2. キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物（以下、「資金」という。）は、前連結会計年度末に比べ1,529百万円（20.2%）減少し、6,061百万円となりました。

当第2四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

### （営業活動によるキャッシュ・フロー）

営業活動の結果使用した資金は827百万円となりました（前年同期は1,787百万円の収入）。支出の主な内訳は、売上債権の増加額785百万円、仕入債務の減少額825百万円、契約負債の減少額1,265百万円等であります。

### （投資活動によるキャッシュ・フロー）

投資活動の結果使用した資金は前年同期に比べ31百万円（44.0%）増加し、102百万円となりました。支出の主な内訳は、有形固定資産の取得による支出96百万円等であります。

### （財務活動によるキャッシュ・フロー）

財務活動の結果使用した資金は前年同期に比べ472百万円（276.9%）増加し、642百万円となりました。支出の主な内訳は、短期借入金の返済による支出500百万円、配当金の支払額141百万円等であります。

## （3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

「1. 当四半期決算に関する定性的情報(1) 経営成績に関する説明」に記載のような事業環境の下、経営計画を見直したことから、2023年2月14日に公表した通期連結業績予想を修正いたしました。

なお、詳細は、2023年8月10日付で公表しております「2023年12月期第2四半期連結累計期間の業績予想数値と実績値との差異及び2023年12月期通期の業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照下さい。

## 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2022年12月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2023年6月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	7,691,427	6,161,685
受取手形及び売掛金	2,152,212	3,593,807
電子記録債権	1,273,762	653,884
商品及び製品	2,059,064	1,381,552
仕掛品	3,732,337	4,339,770
原材料及び貯蔵品	1,001,305	1,109,520
未収還付法人税等	15,621	-
その他	281,255	84,115
貸倒引当金	△950	△2,158
流動資産合計	18,206,035	17,322,178
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	4,859,186	4,893,691
減価償却累計額	△2,386,630	△2,489,658
建物及び構築物(純額)	2,472,555	2,404,032
機械装置及び運搬具	1,772,562	1,829,825
減価償却累計額	△1,464,930	△1,519,474
機械装置及び運搬具(純額)	307,631	310,350
工具、器具及び備品	1,665,525	1,732,845
減価償却累計額	△1,460,180	△1,525,216
工具、器具及び備品(純額)	205,344	207,629
土地	1,872,940	1,876,461
建設仮勘定	58,037	47,998
有形固定資産合計	4,916,510	4,846,472
無形固定資産		
ソフトウェア	56,806	60,547
電話加入権	2,899	2,827
その他	6,928	9,495
無形固定資産合計	66,634	72,870
投資その他の資産		
投資有価証券	351,230	416,118
退職給付に係る資産	240,858	237,891
繰延税金資産	198,993	197,435
その他	34,962	40,401
貸倒引当金	-	△110
投資その他の資産合計	826,044	891,736
固定資産合計	5,809,189	5,811,079
資産合計	24,015,225	23,133,258

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2022年12月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2023年6月30日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	2,578,648	1,774,937
短期借入金	3,000,000	2,500,000
未払金	255,437	232,442
未払法人税等	70,455	445,432
契約負債	3,380,799	2,134,133
賞与引当金	58,648	56,986
アフターサービス引当金	81,742	93,068
その他	170,361	483,082
流動負債合計	9,596,092	7,720,083
固定負債		
繰延税金負債	31,522	34,984
退職給付に係る負債	163,055	163,541
資産除去債務	20,936	21,107
その他	33,755	39,723
固定負債合計	249,270	259,356
負債合計	9,845,362	7,979,439
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	1,250,816	1,250,816
資本剰余金	1,846,423	1,850,157
利益剰余金	12,049,806	12,901,081
自己株式	△978,781	△961,573
株主資本合計	14,168,264	15,040,482
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	76,684	121,119
繰延ヘッジ損益	△329	△754
為替換算調整勘定	△74,756	△7,029
その他の包括利益累計額合計	1,597	113,336
純資産合計	14,169,862	15,153,818
負債純資産合計	24,015,225	23,133,258

## (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

## 四半期連結損益計算書

## 第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2022年1月1日 至 2022年6月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2023年1月1日 至 2023年6月30日)
売上高	5,123,730	7,927,319
売上原価	3,560,399	5,323,838
売上総利益	1,563,331	2,603,480
販売費及び一般管理費	1,239,484	1,290,045
営業利益	323,846	1,313,435
営業外収益		
受取利息	256	141
受取配当金	6,693	5,389
受取賃貸料	2,583	3,783
為替差益	72,748	37,097
作業くず売却益	8,621	15,345
助成金収入	14,919	3,866
その他	9,832	9,054
営業外収益合計	115,654	74,678
営業外費用		
支払利息	2,136	2,098
減価償却費	1,007	985
その他	350	22
営業外費用合計	3,493	3,106
経常利益	436,007	1,385,007
特別利益		
固定資産売却益	1	227
特別利益合計	1	227
税金等調整前四半期純利益	436,008	1,385,234
法人税、住民税及び事業税	120,734	405,950
法人税等調整額	△11,902	△13,960
法人税等合計	108,832	391,989
四半期純利益	327,176	993,245
親会社株主に帰属する四半期純利益	327,176	993,245

四半期連結包括利益計算書  
第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2022年1月1日 至 2022年6月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2023年1月1日 至 2023年6月30日)
四半期純利益	327,176	993,245
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△37,052	44,435
繰延ヘッジ損益	△160	△424
為替換算調整勘定	142,212	67,727
その他の包括利益合計	104,998	111,738
四半期包括利益	432,175	1,104,983
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	432,175	1,104,983

## (3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2022年1月1日 至 2022年6月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2023年1月1日 至 2023年6月30日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前四半期純利益	436,008	1,385,234
減価償却費	194,325	186,453
固定資産除売却損益 (△は益)	△1	△227
退職給付に係る負債の増減額 (△は減少)	△1,211	485
退職給付に係る資産の増減額 (△は増加)	2,404	2,966
賞与引当金の増減額 (△は減少)	△1,893	△1,887
アフターサービス引当金の増減額 (△は減少)	△4,173	10,097
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	△251	1,318
受取利息及び受取配当金	△6,949	△5,531
助成金収入	△14,919	△3,866
支払利息	2,136	2,098
売上債権の増減額 (△は増加)	419,030	△785,036
棚卸資産の増減額 (△は増加)	△1,380,631	10,682
未収消費税等の増減額 (△は増加)	31,027	207,364
仕入債務の増減額 (△は減少)	61,759	△825,585
未払金の増減額 (△は減少)	29,723	△13,852
契約負債の増減額 (△は減少)	1,851,431	△1,265,440
その他	12,276	296,422
小計	1,630,093	△798,303
利息及び配当金の受取額	6,369	5,528
助成金の受取額	47,737	3,866
利息の支払額	△2,136	△2,098
法人税等の支払額又は還付額 (△は支払)	105,876	△36,281
営業活動によるキャッシュ・フロー	1,787,940	△827,288
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
有形固定資産の取得による支出	△56,549	△96,984
有形固定資産の売却による収入	1	227
無形固定資産の取得による支出	△8,218	△4,344
投資有価証券の取得による支出	△1,129	△1,167
その他	△5,291	△255
投資活動によるキャッシュ・フロー	△71,187	△102,525
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
短期借入金の返済による支出	—	△500,000
自己株式の取得による支出	—	△203
配当金の支払額	△169,121	△141,324
その他	△1,439	△1,365
財務活動によるキャッシュ・フロー	△170,561	△642,893
現金及び現金同等物に係る換算差額	86,755	42,965
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	1,632,946	△1,529,741
現金及び現金同等物の期首残高	6,307,935	7,591,427
現金及び現金同等物の四半期末残高	7,940,882	6,061,685

## (4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前題に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

## 【セグメント情報】

## I 前第2四半期連結累計期間(自 2022年1月1日 至 2022年6月30日)

## 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位:千円)

	報告セグメント			調整額 (注) 1	四半期連結損 益計算書計上 額(注) 2
	巻線機事業	送風機・住設 関連事業	計		
売上高					
顧客との契約から生 じる収益	2,452,944	2,670,785	5,123,730	—	5,123,730
その他の収益	—	—	—	—	—
外部顧客への売上高	2,452,944	2,670,785	5,123,730	—	5,123,730
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	468	468	△468	—
計	2,452,944	2,671,254	5,124,199	△468	5,123,730
セグメント利益	355,769	116,164	471,934	△148,087	323,846

(注) 1. セグメント利益の調整額△148,087千円の主なものは、各報告セグメントに配分していない全社費用であり当社の管理部門に係る費用等であります。

2. セグメント利益は、四半期連結財務諸表の営業利益と調整を行っております。

## II 当第2四半期連結累計期間(自 2023年1月1日 至 2023年6月30日)

## 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位:千円)

	報告セグメント			調整額 (注) 1	四半期連結損 益計算書計上 額(注) 2
	巻線機事業	送風機・住設 関連事業	計		
売上高					
顧客との契約から生 じる収益	5,452,457	2,474,862	7,927,319	—	7,927,319
その他の収益	—	—	—	—	—
外部顧客への売上高	5,452,457	2,474,862	7,927,319	—	7,927,319
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	108	108	△108	—
計	5,452,457	2,474,971	7,927,428	△108	7,927,319
セグメント利益	1,377,990	75,211	1,453,202	△139,767	1,313,435

(注) 1. セグメント利益の調整額△139,767千円の主なものは、各報告セグメントに配分していない全社費用であり当社の管理部門に係る費用等であります。

2. セグメント利益は、四半期連結財務諸表の営業利益と調整を行っております。